

りゅうおう

議会だより

No. 195
2021年5月1日
滋賀県竜王町議会

コロナも通学も
安全第一！

- 定例会報告 P2～ 令和3年度予算は
- 委員会報告 P6～ 認定こども園の移行計画
- 一般質問 P10～ 近江牛の地域資源認定は
- 追 跡 P21 国保医科診療所の今後
- シリーズ P22 私たちONE TEAM

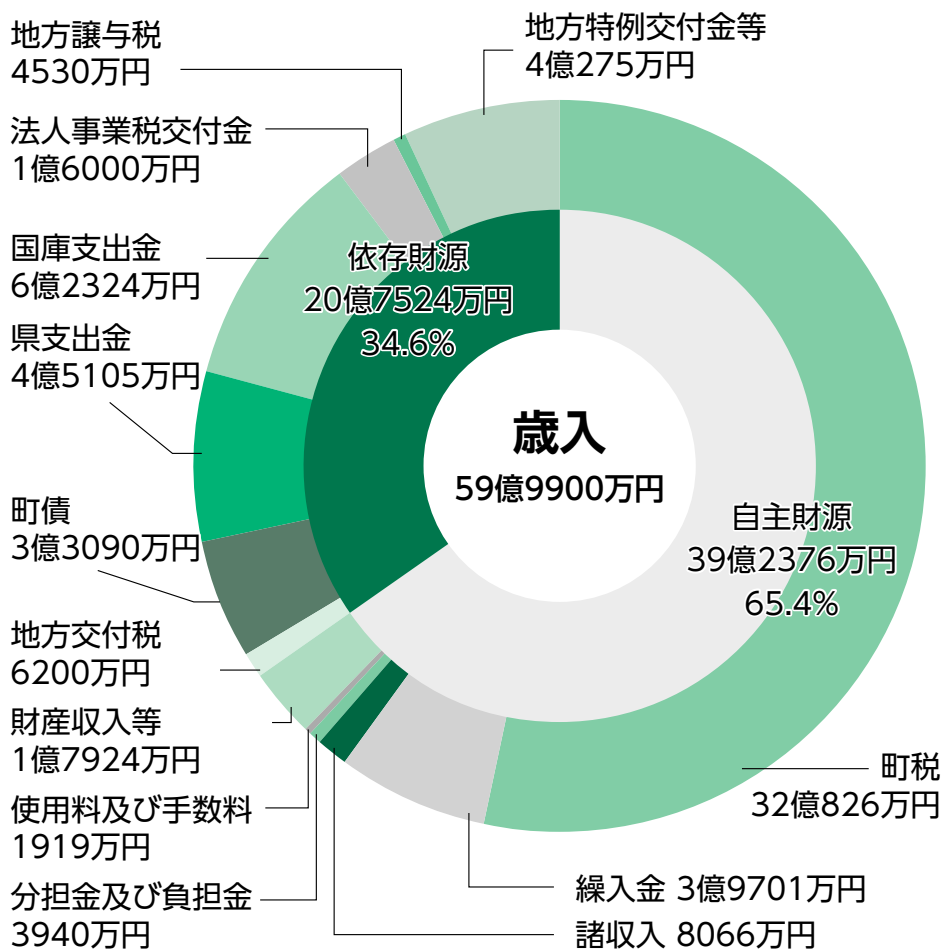
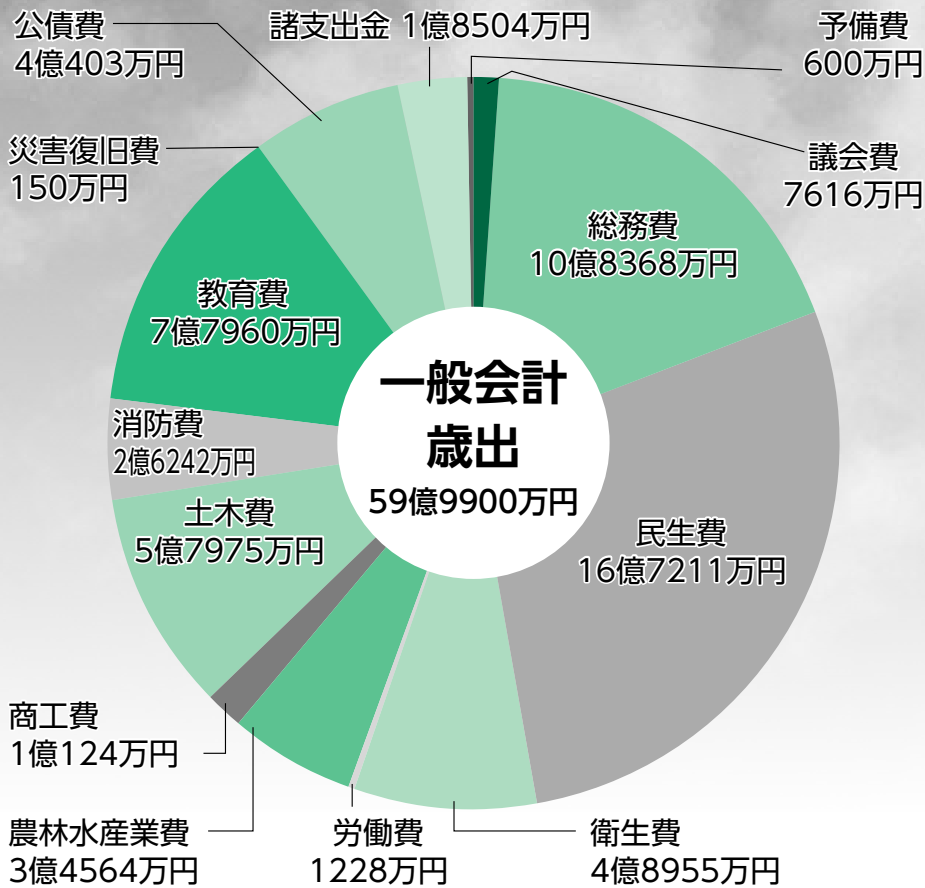
3月
定例会

59億円

可決

3月定例会のあらまし

3月定例会が3月2日から25日までの24日間の会期で開かれました。西田秀治町長が行政執行方針を、甲津和寿教育長が教育行政基本方針を発表しました。今定例会の提出案件29件で、条例案、補正予算、令和3年度一般・特別・企業会計予算などを審議し、すべて原案の通り可決しました。新年度予算は前年度比5%の減となり、また、4年ぶりに国から普通交付税を受ける交付団体となりました。



主な質疑応答

新型コロナウイルス感染症 ワクチン接種

問 集団接種の体制はどうなっているのか。

答 集団接種は町公民館で行い、接種時間は午後2時～4時を予定している。1日最大で240人の接種を考えている。

※関連記事P15・P18

農林公園施設整備事業

問 整備事業費の6320万円は、ミートショップの改修に特化した予算なのか。

答 道の駅アグリパーク竜王の産地直売所のレストランの一部をミートショップとするだけでなく、バーベキューテラス、家族向けの施設等の整備も行う。

南部地区防災センター（岡屋地先）解体撤去工事設計業務

問 以前は改修する方針だったが、今回解体することになった経緯は。

答 概算の解体撤去工事費は、アスベストの産業廃棄物を含め約3000万円である。活用も検討してきたが、地元とも話し合い、解体し、跡地を利活用することとなった。できるだけローコストで整備を行いたい。



有線放送継承事業

問 財産の処分について当初は余剰金でまかなえるという話だったが、金額が増加した理由は何か。

答 当初の見積は近隣市町の例を参考にした額だった。予算の積算が上がった段階で議会には説明する必要があった。今後、有価物（銅線・鉄柱等）の売却とスピーカー等の回収を自治会に依頼し、予算の削減に努める。

官製談合事件について

昨年11月に発生した官製談合を受けて、3月25日に執行部からは町長・副町長の給料をそれぞれ50%、30%1ヶ月減額とする条例案が提出され、議員全員賛成のもとこれを可決しました。今後は再発防止策の取組を望みます。

新年度予算に対する反対と賛成の討論

（議第17号 「令和三年度竜王町一般会計予算」 への討論から抜粋）

反対意見：コンパクトシティ化構想についてはコロナ禍以前に考えられた計画であり、この状況下での大型開発については、経済情勢を考慮して見直しをすべきではないか。

賛成意見：新年度予算は前年度より3億1500万円減の予算としている。竜王町第六次総合計画のスタートの年にふさわしい若者に視点を置いた施策も含まれている。町を活性化させるためには新しいことへのチャレンジは必要不可欠である。

の主な予算

●路線バス夜間通行業務および
通学定期補助金 **900万円**

●放課後児童健全育成事業 **5398万円**

●小中学生の医療費無償化 **2850万円**

●給食センター内の食物アレルギー対策
340万円

●通学自動車管理運営事業
(スクールバス運営) **2917万円**

●未来へつなぐまちづくり交付金
※関連記事 P16 **1789万円**



交付金を活用した防犯カメラの更新

●道の駅アグリパーク竜王の拡充・整備
6320万円

●魅力ある農業の創生事業
※関連記事 P15 **800万円**

●農林公園施設管理事業 **8661万円**



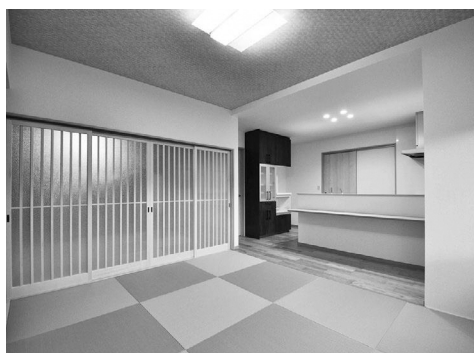
農業

令和3年度

壮年・ シルバー



- 介護人材確保・定着促進事業 **60万円**
- りゅうおう健康ベジ7（セブン）
チャレンジの促進 **178万円**
- チョイソコりゅうおうの利用促進
※関連記事 P13 **159万円**
- 新型コロナウイルスワクチン接種事業
※関連記事 P15・P18 **6145万円**



リフォーム補助の活用例

- コンパクトシティ化構想リーディング
プロジェクト「交流・文教ゾーン」の
整備 **3597万円**
※関連記事 P9・P20



若 者

- 若者定住のための住まい助成事業
（新築・リフォーム・家賃補助） **1450万円**
- 地域子育て支援拠点事業
（親子の交流の場づくり） **679万円**
- スポーツライミング普及啓発事業
※関連記事 P9 **110万円**

総務産業建設常任委員会



第六次竜王町総合計画基本構想を定めることについて(令和3～12年度)(3月4日)

1 まちづくりの考え方(基本理念)

- ・豊かな自然と歴史を誇れるまちづくり
- ・みんなが安全に安心して暮らせるまちづくり
- ・地域特性を生かす持続可能なまちづくり
- ・協働によるまちづくり

■将来目標人口

2030年 11,000人以上
2040年以降 10,000人以上

■生産年齢人口比率

2030年 56%以上

2 めざすべき2030年の姿と3つのまちづくり分野

3つのまちづくり分野を設定し、下位計画である基本計画を横断的に推進する。

やさしさ

若い人を中心に転出超過が続く中、子育てや教育環境の充実と関係人口の取り込みや交流人口の増加を図る施策で人口増加につなげる。

安心して暮らせるまちづくり
～次世代に引き継げるやさしさの創造～

「10年後のあるべき姿(将来像)」
わかもの 若者も暮らしたい 希望かなえる 輝竜の郷
～心弾む 新時代へのチャレンジ～

豊かさ

つながり

活力あふれるまちづくり
～発展・進化を生み出す豊かさの創造～

みんなで進めるまちづくり
～新たな時代に対応したつながりの創造～

主な質疑応答

問 生産年齢人口比率 56%以上とした理由は。また基本計画に基づく事業の実施・検証についての考え方は。

答 高齢者の単身・夫婦世帯の割合が増加しており、自助(家族)と共助(地域)の力が弱くなっている。単に人口増を目指すのではなく、若い人がいる家族が増えてほしい思いから目標に入れた。また、基本計画を基に毎年、進ちょく度や次年度に向けた課題を把握・管理していきたい。

問 住宅地確保のための農地転用が難しいのであれば他に宅地供給候補地はないか。

答 土地利用の緩和について、地方創生の観点から人口減少にかかる最低限の住宅地が必要なることを引き続き国や県へ要望していく。

総務産業建設常任委員会



農林公園施設（新直売所）の条例改正・指定管理等について（2月22日）

アグリパーク竜王の直売所増築に伴い、下記の内容について、3月議会に上程する予定であると報告を受けた。

- 新直売所を竜王町農林公園施設の設置および管理に関する条例へ加えること。
- 指定管理者の指定について。



教育民生常任委員会



竜王町介護保険条例の一部を改正する条例（3月10日）

令和3年度から令和5年度までを計画期間とするいきいき竜王長寿プラン（竜王町高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画）に基づき、第1号被保険者介護保険料を見直すため、条例改正の審査を行った。

主な質疑応答

- 問** 所得段階区分を9段階から12段階に変更することについて策定委員会ではどのような意見があったか。
- 答** 県下で9段階を設定しているのは竜王町だけであり近隣市町は12段階が多い。また所得の応分負担の考え方は委員会の賛成が得られた。

○現行条例と改正条例による65歳以上の第1号被保険者の介護保険料比較表

本人	世帯	段階 ※1	基準額に 対する率	第7期 (H30年度～R2年度)		第8期 (R3年度～R5年度)		第8期計画 R3年度被保険者数 概算数※2	
				年額	月額	年額	月額		
非課税	非課税	1	0.50	35,400 円	2,950 円	37,200 円	3,100 円	216人	7%
		(1)	(0.30)	(21,240)円	(1,770)円	(22,320)円	(1,860)円		
		2	0.75	53,100 円	4,425 円	55,800 円	4,650 円	208人	6%
		(2)	(0.50)	(35,400)円	(2,950)円	(37,200)円	(3,100)円		
		3	0.75	53,100 円	4,425 円	55,800 円	4,650 円	217人	7%
		(3)	(0.70)	(49,560)円	(4,130)円	(52,080)円	(4,340)円		
課税	課税	4	0.90	63,720 円	5,310 円	66,960 円	5,580 円	366人	11%
		5	1.00	70,800 円	5,900 円	74,400 円	6,200 円	844人	25%
		6	1.20	84,960 円	7,080 円	89,280 円	7,440 円	581人	18%
		7	1.30	92,040 円	7,670 円	96,720 円	8,060 円	470人	14%
		8	1.50	106,200 円	8,850 円	111,600 円	9,300 円	230人	7%
		9	1.70	120,360 円	10,030 円	126,480 円	10,540 円	69人	2%
		10	1.80			133,920 円	11,160 円	60人	2%
		11	1.90			141,360 円	11,780 円	19人	1%
		12	2.00			148,800 円	12,400 円	33人	1%

※1 第1段階～第3段階の（ ）内の数値は、低所得者保険料負担軽減後の割合と金額。

※2 地域包括ケア見える化システム総括表（R3.1.18現在）抜粋

教育民生常任委員会



認定こども園移行基本計画（案）（3月10日）

令和4年開園

1 認定こども園の開園にむけた方向性

- 3・4・5歳児を対象とした「幼稚園型認定こども園」の開園
- 両幼稚園を1つにして「竜王町立竜王こども園」の開園

2 認定こども園の具体的な体制と運営

- (1) 教育・保育時間は7時30分～18時
- (2) スクールバス（通園自動車）の運行
- (3) 長期休業中の給食の提供
- (4) 現在の竜王幼稚園の園舎を活用
- (5) 子育て家庭への支援やアドバイスの拠点となる
認定こども園の開園
- (6) 小学校との連携・交流の充実

主な質疑応答

問 朝7時30分から開園することになっているが、民間保育園と調整はできているか。

答 民間保育園との協議の中で一定の理解は得ている。また、保護者ニーズに対応できる体制は必要と理解をいただいている。

	令和2年度			令和3年度											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
こども園準備内部協議			移行計画完成	こども園条例(案) 施設規則(案)作成		(施行日は令和4年4月1日)									
				幼稚園条例廃止 (案)作成		(施行日は令和4年4月1日)									
			政策推進会議	法規審査会						園歌・園章制定(公募)					
			意見交換会実施 集計、分析	公共料金 審査委員会											
保護者対応			アンケート実施 集計、分析	啓発パンフレット作成											
			方向性 確定												
				町ホームページ他にて啓発											
							7月 説明会開催	8月末 入園案内送付		10月 入園受付		11月 親子面談	1月 入園説明会	2月 体験入園	
							親子行事実施								
							ちびっこ幼稚園								

移行

教育民生常任委員会



2025年滋賀国スポ大会の競技会場および常設ボルダリング施設整備 (1月28日)

1 滋賀国スポ大会におけるスポーツクライミング競技会場について

- ドラゴンハット内でリード競技およびボルダリング競技を実施
- 国スポ競技会場として仮設置する期間は最長で約半年間（4月中旬～10月下旬）
- リハーサル大会は6月上旬。本大会は10月上旬の予定
- 概算費用額は7400万円。競技施設の設置、撤去を含めすべて県補助金で対応

2 常設ボルダリング施設整備について（令和3年度中に整備完了）

(1) 施設整備の方向性および整備後の施設利活用方法

- スポーツクライミング競技を広く町民に普及啓発していくための施設
- 生涯スポーツとして広く町民が利用を続けることができる施設
- 県レベルの大会を誘致し、多くのクライマーが集まってくる施設

(2) 施設整備の手法および概算工事費

- 総合運動公園内に新規整備する方向で進めていく
- 概算想定額は約1億円（総事業費の1／2が国庫補助の予定）



地域活性化特別委員会



中心核整備（交流・文教ゾーン）の進ちょく（3月11日）

●これまでの経過

- 1月27日 令和3年第1回臨時会 補正予算上程（鑑定評価のための予算組替）
- 2月16日 中心核整備事業にかかる不動産鑑定評価業務（契約期間：令和3年2月16日～3月26日）
- 2月19日 綾戸地区より町へ要望書提出
- 要望事項…交通安全対策、集落内交通量削減、通学路の提示、居住ゾーンの推進等

●交流・文教ゾーンの概算事業費

小学校建設費用	
※小学校（コミュニティセンター・ホール含む）	30.0億円
その他施設建設費用	
※幼稚園（こども園）、学童保育所、給食センター	12.6億円
用地取得・造成費用	7.4億円
道路・インフラ整備費用	5.0億円
合 計	55.0億円

3月定例会では11議員が 23問の一般質問を行いました。

ページ	質問者	質問事項
11	鎌田 勝治	- 土砂災害対策について - 町道鏡七里線の道路整備は
12	貴多 正幸	- 西横関地先の大洞川の改修は - 公共施設等総合管理計画の個別計画の今後は
13	岡山 富男	- 予約制乗合ワゴン「チョイソコリゅうおう」は - さくら団地から山中出口橋間の道路改良を
14	中村 匡希	- 県の近江牛の地域資源認定について - ホームページに移住定住情報の充実を
15	磯部 俊男	- 新型コロナウイルスワクチン接種に係る対応は - 魅力ある竜王町の農業振興は
16	大前 セツ子	- 独居高齢者等への継続的な支援事業の状況は - マイナンバーカードの普及促進は
17	澤田 満夫	歯科診療所のあり方について
	福田 優三	東近江地域鳥獣被害防止計画の取組は
18	森島 芳男	- 新型コロナウイルスワクチン接種について - IBMグラウンド跡地の現在の状況は
19	尾川 幸左衛門	- 橋梁長寿命化修繕計画は - 惣四郎川の樋門、樋管について
20	橘 せつ子	- 竜王町コンパクトシティ化構想について - 令和3年度の国民健康保険税は - 幼稚園の認定こども園への移行は※ - 新型コロナウイルス感染症に対する経済支援は ※ - GIGA（ギガ）スクール構想事業と無線周波数電磁波対策は ※

※紙面の都合上、掲載しておりません。

次回の一般質問は

令和3年6月18日(金)予定

関連記事 P21

議員の質問順は町ホームページでご確認ください。

問 議会事務局 電話 0748-58-3713

町政

ここを問う！

一般質問って？

町の行政全般について
議員が町長をはじめとして
担当部局に疑問点を質したり、
見解などを尋ねたりするもので、
毎定例会で行われるよ



近江うし丸



鎌田 勝治 議員

問 土砂災害対策について

答 関係機関等との連携を図り防災力向上に努める



平成25年台風18号による土石流現場(鏡山)

問 土砂災害対策について次の3点を伺う。
①土砂災害警戒区域に指定された地域住民への更なる周知方法と万一、土砂災害が発生した場合の具体的な対応策は。
②災害に強い基盤づくりの観点から、鏡山のえん堤等の整備は進められているが、その進捗はどうか。
③竜王町地域防災計画について前回の計画からの改善点は。

答 ① 自治会での個別説明会の実施。万一の場合はタブレット端末で区長との密な連携により対象住民への迅速な避難誘導および関係機関と連携し災害対応にあたる。
② 平成25年9月の台風18号で災害発生した3箇所は、令和元年度に全ての工事を終了。現時点で次の工事予定はない。
③ 竜王町防災行政情報システム・浸水想定区域内や土砂災害警戒区域内にある要配慮者利用施設等・警戒レベルに応じた住民のとりべき行動を追記。指定避難所（指定緊急避難場所）に町公民館を指定。帰宅困難者対策として施設管理者に対し物資の備蓄や帰宅困難者の安全確保等の協力を要請。更に避難勧告等の発令基準についても修正を行い、適切なタイミングでの発令、的確な情報伝達に努める。

問 町道鏡七里線の道路整備は

答 当該道路整備計画について検討する

問 町道鏡七里線鏡集落センター前付近の歩道整備が完了し、通学児童の交通事故対策に一定の効果が期待できると思うが、残りの区間の整備延長をする計画はあるか。
また、当該地域の抜本的な交通安全対策は、既存の道路の改良や道の駅竜王かがみの里の開発計画と連動したバイパスの整備にあると考えるが、町としての考え方および今後の方針は。

答 残りの30mのカーブ区間について、同様に歩道整備として令和3年度に工事を進める予定。道の駅竜王かがみの里の拡張計画と連携したバイパス整備については、過年度より検討しており、令和3年度には、道の駅隣接地の有効活用について検討予定であり、併せて道路整備も検討する。当該道路計画については、課題や検討事項が山積しているが、地元や関係機関と連携を図り周辺地域の交通安全対策につなげられるよう進めたい。



新しく整備された歩道（鏡地先）

問 西横関地先大洞川の改修は

答 管理者である県に対し引き続き働きかける



貴多 正幸 議員



浸食され土のうが積まれた大洞川

問 西横関を流れる大洞川は、特に旧中山道を越えてから護岸が古く、一部については今年に入り県に護岸の修復をしていただいた。しかし、国道477号を越えてからの数百メートル部分については護岸が崩落している箇所や現在も大型土のう袋にて堤防の仮復旧を行っている箇所があるが、改修についてどのように考えているのか伺う。

答 西横関地先の大洞川、特に旧中山道から下流部については、施設の老朽

化が著しい箇所があり、地元自治会要望も踏まえ河川管理者である県に対し働きかけを行い、修繕を行っていただいている。昨年9月に左岸の護岸が損傷し、現在、耐久力のある大型土のう袋にて仮復旧を行っている箇所については、県に対し要望を行っており、令和3年度に測量および設計、令和4年度に工事の予定である。加えて、大洞川が流入する日野川についても一刻も早く竜王町域まで改修が進捗するように国や県に対し、引き続き強く要望をしていく。

問 公共施設等総合管理計画の個別計画の今後は

答 実行性のある長寿命化対策に取り組む

問 竜王町公共施設等総合管理計画策定後の進捗よく等について次の3点を伺う。
①施設ごとの個別計画の策定に向けたこれまでの取組は。
②個別計画にはどのような内容（項目）が盛り込まれるのか。
③個別計画は財政的な視点や踏まえた実行性のある計画になるのか。

答 ① 公共施設では、平成30年度に総合運動公園施設、令和2年度に学校施設の長寿命化計画を策定。その他の施設については、現在建築系公共施設個別施設計画を策定中。橋梁については平成23年度に橋

梁長寿命化修繕計画を策定し、令和2年度に更新。上水道は平成28年度に水道事業アセツトマネジメント計画、令和元年度に公共下水道ストックマネジメント基本計画を策定。農業水利施設は令和元年度に農業水利施設機能保全計画を策定。町道は現在、町道舗装修繕計画を策定中。

② 計画には、「対象施設」、「設定した計画期間」、「対策の優先順位の考え方」、「施設毎に整理した個別施設の状態」、「対策内容と実施時期」、「計画期間内に要する概算の対策費用」の6つの事項を記載している。
③ 施設の状態や財政状況を考慮して計画の定



取り壊しが予定される旧老人憩いの家

期的な見直しを行うとともに、改修等を実施する際には、活用できる起債や国庫補助等について調査し、活用していくことにより町費負担の軽減を図る。



岡山 富男 議員

問 予約制乗合ワゴン 「チョイソコリゅうおう」は

答 有償化により回数券を発行し負担軽減する



利用されるチョイソコリゅうおう

① 答 2月末の会員数は740名で利用されている方は149名となっている。1日平均利用者は14人。1便あたりの平均乗合率は約1.6人。

問 新たな移動手段として令和2年10月から実証運行が開始された「チョイソコリゅうおう」について次の2点を伺う。
①現在までの利用状況は。
②実証運行を進める上で生じた課題・対策は。

② 多くの声をいただいた意見が2点あった。1点目は「片道300円の運賃が高い」という声であり、有償化に合わせて回数券を発行することで、実質の運賃を1回あたり200円まで軽減をしたいと考えている。2点目は「運行範囲を町外まで広げてほしい」という声である。町外への移動に対しては、竜王口バス停と町公民館（竜王町タウンセンター）で乗り継ぐ場合、乗り継ぎ先の運賃が無料になるサービスを開始する。

答 令和元年度に谷田川側の路肩に堆積し、道幅を狭めていた土の撤去を行い、圍場側の路肩部についても、舗装して幅員を広げた。また、区画線を引いて通行車両への速度抑制を促した。
子ども達の通学において、安全を確保することは大変重要なことであると認識しており、引き続き安全対策の検討を行う。

問 さくら団地から山中出口橋間中出口橋間は道路幅が狭く、対向車とすれ違うことが大変厳しい状況の中、中学生が通学のため自転車で行き通っており、大変危険である。子どもたちが安心して通学出来るような対策は。

問 さくら団地から山中出口橋間の道路改良を
答 安心して通学できるように検討する



車のすれ違いが困難な山中出口橋付近

問 県の近江牛の地域資源認定について

答 ブランド力低下を招かないよう
県に強く要望していく



中村 匡希 議員



認証近江牛のシールが貼られた返礼品

問 滋賀県はふるさと納税の返礼品として「近江牛」を県内の全市町で取り扱える新たな指針を発表した。本町のこれまでのPR活動を思えば大変惜しいことだが、これをどのように捉えているのか。

答 町としては、他市町も扱うことで短期的な経済効果は期待できるが、長期的には近江牛全体のブランド価値の低下が懸念され、賛成しかねるというスタンスである。8割程度の生産地が東近江管内にあり、主たる生産

地、肥育地の理解を得られたとは言い難い状況での認定に強い懸念を抱いている。県から示された、地理的表示保護制度における近江牛とする、当該市町内の事業者から調達することに努める等の運用ルールは充分とはいえない。

問 本町は小中学生の医療費無償化や「若者定住のための住まい補助金」などPR力のある施策をしているが、竜王町のホームページ上では情報は個々のページに記載されており十分にその良さが伝わらない恐れがある。移住定住を検討される

答 ホームページには各施策が個別に掲載されており、移住を希望される方にとって、分かりやすいものにはなっていない。子育てに関する情報は専用サイト「りゅうおう」を発信していきたい。

方向けに集約した情報提供が必要だと考えるが見解を伺う。



情報の集約が期待される町ホームページ

問 ホームページに移住定住情報の充実を

答 できるだけ早い時期に工夫し
発信していく



磯部 俊男 議員

問 新型コロナウイルス ワクチン接種に係る対応は

答 不測の事態への対応を更に講じていく



ワクチン接種シミュレーションの様子

問 接種時における感染予防策と、接種後の経過観察の対応はどのようなのか。また、医師等の人員確保や接種に係る体制整備等についてはどうに行うのか。

答 公民館ホールでは常時換気をしながら密閉を避けて実施する。15分間隔での予約体制の確保と密集を避けた受付対応ならびに接種者の動線となるよう努める。消毒と対

面時でのゴーグル等の使用を徹底し、接種者同士の間隔を保ち、密接防止に努める。
経過観察ゾーンを設け、体調不良者用のベッドも準備し、緊急対応での救急車の進入路を確保する。現在、医師3名、看護師3名を確保している。集団接種にかかる体制は健康推進課以外からも応援を願い医師、看護師も含めて25名体制で接種の対応を検討し、準備を進めている。

問 魅力ある竜王町の農業振興は

答 意欲ある農業者の育成を図る

問 道の駅アグリパーク竜王は昨年度より新たな展望での施設整備が行われている。本町においても近年、基幹的農業従事者数は減少し、65歳以上の占める割合も高くなっている。竜王町の歴史、地域特性を生かし、農家と地域が連携する必要がある。道の駅アグリパーク竜王を活かした農畜産の生産・販売の拡大ならびに、意欲ある農業後継者の育成が喫緊の課題と考えるが町の支援方策は。

答 道の駅アグリパーク竜王直売所増築工事と農村改善センターの改修工事が完了し直売所は約3倍の面積となった。地元産の農畜産物の生産、出荷の拡大が必要となっている。「魅力ある農業の



増築された直売所

創生事業（特産品産地育成でのブランド化支援、減農薬等果樹・野菜への支援）を活用いただき、生産・出荷拡大につなげていきたい。昨年からの「竜王町農業あり方検討懇話会」を開催し、地域の農業の実態や課題を整理している。地域外を含め、意欲ある新規就農者など幅広い人材の確保・育成についても議論を進めている。

問 独居高齢者等への継続的な支援事業の状況は

答 積極的に地域福祉力の強化を図る



大前 セツ子 議員



コロナ禍での見守り活動

問 独居高齢者等への継続的な支援事業が実施されている中、本町の高齢者人口は、3,362人で高齢化率は28.4%と前年より高くなり一人暮らしや高齢者世帯の方も多くなっている。コロナ禍で、地域でのふれあいの場や人と出会う機会もない中で、独居高齢者や高齢者世帯の見守り支援が求められているが町としての取組状況と課題、今後について伺う。

答 竜王町未来へつなぐまちづくり交付金事業

は、平成30年度は5自治会、令和元年度は8自治会が取り組まれた。独居高齢者等への継続的な支援は行政や地域でもあるが、コロナ禍という現状は地域福祉活動の在り方を住民間で振り返る機会ともなっている。

令和3年度からの「いきいき竜王長寿プラン」でも災害時の避難や日常の見守りを自治会とともに進めていく「ご近助」体制づくりに重点をおき取り組むとしている。

地域間における役割を議論、整理することにより行政も積極的に関わり地域福祉力の強化を図りたい。

問 マイナンバーカードの普及促進は

答 広報等により周知していく

問 マイナンバー制度は行政の効率化、国民の利便性の向上、公平公正な社会の実現のため、平成28年より運用がスタートした。

本町でも平成30年より顔写真を無料で撮影し、交付申請を支援している。

答 マイナンバーカードは本人確認の際の公的な身分証明書であるが、個人の所得や資産状況・紛失時の心配などで今すぐ申請しなくても不便を感じないという方が多いようである。

運用開始から5年が経過したが、普及状況ならびに促進のための取組状況は。

答 本町でのマイナンバーカードの交付率は、



申請手続きの様子

令和3年2月末時点で約23%、県は約29%、全国では25.2%とまだ低い状況である。

国では、各種行政手続きのデジタル化に併せて、令和4年度末には、ほぼ全員が取得することを目指している。

本町では、これまで来

庁された方に対して案内したり、出張申請サポートを実施した。また、広報3月号で特集し健康保険証としての利用が見込まれているので、この機会にカード取得のメリットや安全性をより具体的に周知広報していく。



澤田 満夫 議員

問 歯科診療所のあり方について

答 社会的ニーズに応じた事業の推進を図る



竜王町国民健康保険診療所（歯科）

問 町歯科診療所は、地域ケアシステムの組織として、治療と予防に大きな貢献をしているが、診療所機能の強化や、高齢者の増加に対応した取組および民間医療機関との連携等について町の考えを伺う。

答 診療所は、町の保健施設として公衆衛生の向上と増進に寄与することを目的に設置した。業務は、治療のほか、学校・園での集団指導やフッ素洗口等の実施、要介護者

への訪問歯科指導を通じて口腔内ケアと誤えん性肺炎予防等の指導を行っている。診療所機能強化については、公共施設等総合管理計画にあわせ修繕を行うが、当面は現状施設での業務推進を考えている。高齢者の増加への対応は、ケアマネジャー等との連携を図り、また民間歯科医院とは湖東歯科医師会を通じて課題や情報の共有を図り、今後も社会的ニーズに応じたタイムリーな保健事業の推進を図っていききたい。



福田 優三 議員

問 東近江地域鳥獣被害防止計画の取組は

答 引き続き被害防止策を進めていく



有害鳥獣（カラス）捕獲の様子

問 鳥獣による農林水産業や生活への被害は、山林や河川などの周辺において市町の境界を越えて発生することから東近江地域2市2町で鳥獣被害防止計画を策定し、相互に連携して効果的な対策を進めている。

答 カラスについては、田植え直後の水田で苗を引き抜く被害、果樹や野菜の食害、工場等のフンの被害があり、畜産における被害についても、相談があれば銃器により随時対応している。引き続き、猟友会に委託して駆除を実施するとともに、狩猟免許を取得される際の講習会受講料を補助する支援、被害防止策の要望には地域の実情に合った補助制度を活用いただき、進めていく。

問 新型コロナウイルスワクチン接種について



森島 芳男 議員

答 安心して接種していただけるよう努める

問 いつ頃に接種していただけるのか不安な方が多くおられると思う。ワクチンの配分時期、全ての接種対象者への具体的な接種スケジュールについて説明が必要ではないか。不測の事態が起こらないとも限らず、集団接種のシミュレーションを実施し検証すべきと考えるが町の見解を伺う。

答 医療従事者のワクチン接種は3月5日から開始されている。4月12日の週に100人分が本町に届き次第、高齢者施設の入所者から接種を始め、5月10日の週から集団接種を開始する。また、医療機関での個別接種を組み合わせ、7月下旬には高齢者の2回目の接種が完了できる計画である。本町のワクチン供給が確定し、集団接種の全体日程が決まり次第、速やかにお知らせする。4月中旬以降に、住民票のある65歳以上の方へ接種券や案内文書を郵送する。4

月初旬に集団接種の運営シミュレーションを予定している。正確な情報を提供するとともに、町民の方が安心して接種していただけるように努めていく。

ワクチン接種スケジュール

○現時点での接種スケジュール（予定）



問 良好な住宅地を形成することを目標とした、住宅開発地として、平成22年12月21日に都市計画法第29条の開発許可が下りたが、事業着手されないまま現在に至っている。土地所有者との話し合いについて、現在の進捗よく状況を伺う。

答 土地所有者とは、これまで幾度となく面会を重ね、令和2年11月に、日本IBM本社へ出向き、進捗よく状況の確認と早期事業実施を要望してきた。土地所有者としては、早期に売却して、事業実施したいと考えておられるが、採算性を確保するため、検討に時間を要していることから、進捗よくしていかないのが現状で

答 進捗よく状況の確認と情報共有に努める

問 IBMグラウンド跡地の現在の状況は



雑草の中のグラウンド

あると聞いている。維持管理については地元・土地所有者・町と情報共有に努める。



尾川 幸左衛門 議員

問 橋梁長寿命化修繕計画は

答 パイルベント橋脚の補強について
研究する



薬師橋（パイルベント橋脚）

問 平成24年に橋梁長寿命化修繕計画が立てられている。緊急輸送路は、レベル2（プレート形地震）その他は、レベル1対応となっている。しかしパイルベント橋脚は、耐震検証をしておらず、現況の保全だけを行っている。現在、杭の構造解析は見直しがされているので、構造検証すればすべての橋で一定の地震（レベル1）に対応でき、安全な施設になると考えるが町の見解を伺う。

答 本町では、平成25年度から順次修繕工事を進めてきた。今年度は、昨年度実施した点検に基づき、修繕計画の更新を行っている。パイルベント橋脚は、現在、設置基準がなく、新しい橋を架ける場合には使われていない。構造検証し補強することで一定の地震に耐えられる施設になると理解するが今後研究したいと考えている。また、すべての橋の修繕についても進ちょくを図る。

問 惣四郎川の樋門、樋管について

答 適正な維持修繕ができる体制を整備していく

問 惣四郎川の付帯設備は、40年を経過しようとしている。法定耐用年数は、コンクリートが60年、機械が15年、電気が20年になっている。樋門、樋管施設は、損傷が激しく、特に機械電気設備は、外観からは非常に老朽化している。

そこで、劣化度を把握する調査を行ったのか、また今後の更新計画はどのようなになっているのか伺う。

答 惣四郎川の樋門、樋管は昭和57年度に土地改良施設として3箇所を整備され、毎年、出水期までに職員による動作確認と電気設備の目視点検を行っている。また、今までに電気事業法に基づく定期検査は実施している



小口地先の樋門

が、更新計画は現在ない。中長期的な取組、更新計画については、町が管理する土地改良施設についても、関係機関等も交えて協議を進め、適正な維持修繕が実施できる体制整備を行っていく必要があると考えている。

問 竜王町コンパクトシティ化構想について

答 移転新築が適切な選択と考える



橘 せつ子 議員

① 答 小学校の移転後に民間宅地整備を進め、開発を誘導することによって一定の収入確保を想定しており、居住ゾーンの整備で固定資産税や町民税の増収も見込める。また、児童の安全や教育環境の向



交流・文教ゾーンの整備予定地

② 問 交流・文教ゾーンの整備の次の3点について伺う。
① 竜王小学校の新築移転計画はコロナ禍で町税の減収も考えられるので、方向転換が必要ではないか。
② 中期の財政計画を示されたい。財源はどうするのか。
③ 竜王小学校跡地は宅地の計画と聞いていますが、その将来性は

上など多面的に考え、移転新築が適切な選択と考えている。
② 今後改めて算定の予定だが現時点では全体費用の約90%を国・県の補助金や起債を活用し、一般財源を約10%に抑え関係基金を充当していく。
③ 居住ゾーンとして戸建て住宅と集合住宅からなる住宅地整備を進める予定で子育てにふさわしいゾーンと考える。

③ 問 県の令和3年度国民健康保険納付金額で本町一人あたりの標準保険税額は13万4073円と示された。そこで、次の点を伺う。
① 令和2年度は国民健康保険事業財政調整基金から1700万円を繰入れ、保険税の負担増の抑制措置をされたが、来年度も実施するのか。実施すれば保険税はどの位下げることができるのか。
② 子どもの均等割について、令和4年度から未就学児の1/2減免が実施の予定である。町独自でも残りの1/2の減免を実施できないか。
③ 令和6年度以降に実施予定の国民健康保険料水準の一本化に向けた本町の課題は

① 答 基金繰入れは、納付金額が令和2年度と比較して約3200万円減額されたので、令和3年度予算では実施しない。
② しかし新型コロナウイルスの影響で被保険者所得が減少する場合に備え500万円は予算計上している。1700万円繰り入れた場合は1人あたり約9000円

が引き下がることになる。
③ 現時点で町独自の軽減は考えていないが、滋賀県内の国保の運営方針を受け、令和4年度の子どもの均等割の軽減について対応を決定する予定。
④ 現時点での課題は、4方式による保険税の賦課を3方式による賦課にしていくことである。



国保連合会から配布の国保のしおり

問 令和3年度の国民健康保険税は
答 令和3年度調定額は引き下げとなる



あの質問は その後、どうなった？

議員の質問に、町がその後どのように対応したかを追跡・検証してみました

国民健康保険診療所(医科)の今後は
(平成30年9月定例会 一般質問より)

問 本町の地域医療計画の基本的な考え方は。
答 今後、国民健康保険診療所の機能強化を検討したい。

問 あり方検討委員会が設置されたが検討状況は。

答 町国民健康保険運営協議会から、本町が目指す新診療所のあり方(機能拡充・設置場所)の提言を頂いた。

問 新設するまでのスケジュールは。

答 平成30年度中に場所の決定、平成31年度に基本・実施設計、令和2年度に建設、令和3年度に開所予定である。

その後

当初の予定では、令和3年3月末完成、4月開所予定であったが、事務手続の遅れ等で半年延び、令和3年10月の開所予定である。



議会音声をインターネット 配信しています



令和3年3月議会からYouTubeチャンネルを利用して本会議音声のインターネット配信を開始しています。
生配信と録音配信がお聴きいただけます。

竜王町議会のホームページからアクセス！



竜王町議会公式YouTubeチャンネル 近江うし丸



この町で読書人であり続けたい

竜王読書会はわずか10人余りの小さな仲間ですが、昭和49年（1974年）に発足し半世紀が経ちました。活字離れの風潮に悼さしながら、書を読み文を認めることに密やかな楽しみを見つけています。会員相互が推奨する月一冊の課題図書、作品ゆかりの地を訪ね歩く旅、一年の集大成でもある文集『あえんぼ』の編集など、コロナ禍にもめげず晴耕雨読の日常を過ごしています。

30年後には100歳以上の方が100万人を超えるそうです。蓮如上人の「いまにいたりてたれか百年の形体をたもつべきや（いったい誰が百年の命をもつのでしょうか）」と言われた時代と隔世の感があります。

日本の人口の100分の1が滋賀県の人口、滋

賀県の人口の100分の1が竜王町の人口とよく言われます。竜王町でも30年後には100歳以上が100人を越えるかもしれません。私たち読書会の会員こそ、そうなる対象なんだと思います。だからこそ心身共の健康と豊かな感性を持ち続ける、読書人であり続けたいと思います。



表紙

通学路の安全を祈る

4月3日（土）、山之上の杉之本神社に新小学一年生が集まり、通学路の交通安全祈願祭が行なわれました。子どもたちは宮司さんの祝詞の後に、親に導かれ自分たちの手でさかきを奉納していました。柏手を打つ姿にはただとしさも見えましたが、その後ろで手を合わせるお父さんお母さんの真剣さに、子の安全を願う親や地域の姿を感じました。



編集後記

町内では田植えも始まり、その中で成長した子どもたちが元気な姿で通学する新学期から早くも1ヶ月が経過しました。新型コロナウイルスは終息が見られない中、近隣の大阪・京都府では「まん延防止等重点措置」が適用されました。

竜王町においては、今月10日からワクチン接種が高齢者の方から始まります。また、4月から第六次竜王町総合計画基本構想がスタートし10年後の目標人口が11,000人と定められました。

議会としても基本理念に基づき町民皆さまが安心して暮らせるまちづくりに取り組んでいくことが重要であると考えております。

そのために、議会だよりを通じて町民の皆さまに情報発信し、意見を聞き、町政に対し議論しより良いまちづくりに取り組んでまいります。（小西 記）

議会広報特別委員会

委員長 中村 匡希
副委員長 大前セツ子
委員 福田 優三
委員 橘 せつ子
委員 岡山 富男
委員 小西 久次